

【2022年度 高大連携委員会 事業報告】(案)

委員長校：関西国際大学

副委員長校：甲南大学、神戸松蔭女子学院大学

委員校：関西学院大学、聖和短期大学、神戸大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、
神戸親和女子大学、神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、頌栄短期大学、
園田学園女子大学、園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、
兵庫大学短期大学部、兵庫医科大学、兵庫県立大学 計19校

<目的>

大学コンソーシアムひょうご神戸中長期計画Ⅱ期の柱「1. 地域の活性化に資する人材育成のための連携」の推進に向けて、以下の取組課題について、事業推進を行う。

【取組課題②】県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続

上記の体制の構築並びに、必要な新規のプロジェクト事業は本委員会にて実施する。

<内容> 取組課題②に対する「個別取組」は、下記の通り。

1. 大学と高等学校の意見交換会の実施
教育委員会等と連携して、兵庫県下の高等学校と大学との意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」等において、兵庫県での高大連携・接続の具体的な課題についての定期的な意見交換を行う。
2. 加盟校の魅力を情報発信
加盟校に関する情報発信を強化し、加盟校への進学率の向上を図る。
生徒が高校生から大学生、社会人になるまでの学びのルートマップを描けるような情報を発信する。

上記の取組について、運営体制の構築と推進は、中長期計画Ⅱ期5か年において段階的に取り組む。期中において新規事業やプロジェクト企画の必要性がある場合は、本委員会にて検討して事業推進を行う。

<期待される効果>

1. 大学と高等学校の意見交換会の実施
兵庫県立高等学校と設置した意見交換の場「ひょうご高校大学コンソーシアム」を継続的に開催していくことにより、県下の大学と高校の高大連携をめぐる多くの課題を共有し、大学と高校における教育の連携を通じた人材育成の取り組みを促進する。大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークの構築が期待できる。
2. 加盟校の魅力を情報発信
高校並びに教職員・生徒に対して、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の魅力を伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与する。さらには、生徒の大学進学後の学生生活の充実と大学で主体的に学び続ける意欲を高める効果が期待できる。

課題② 県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続		予算額
取組1	大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」	200,000円
取組2	加盟校の魅力を情報発信	200,000円

【2022年度 高大連携委員会 事業報告(②取組1)】(案)

【②取組1】達成目標	各年参加校数20校以上
【②取組1】活動指標	意見交換会等の実施/年1回以上

課題②	県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続
達成目標【②取組1】	各年参加校数20校以上
課題を解決する取組概要【②取組1】	大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」
活動指標【②取組1】	意見交換会等の実施/年1回以上

内容 (結果)	<p>「ひょうご高校大学コンソーシアム」の開催 兵庫県下の高等学校・教育委員会・加盟校との意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」を開催。活動指標・達成目標ともに計画通り、達成することで、県下の大学と高校の高大連携をめぐる具体的な課題を共有し、大学と高校における教育の連携を通じた人材育成の取り組みを促進している。 ・2016年から実施している本取組を継続開催することで、大学と高校教職員の相互理解と人的ネットワークの構築を図ることができた。</p> <p>ひょうご高校大学コンソーシアム「『探究』を教育活動で展開するにはどうしたらよいか」 開催日:2022年12月12日(月)13:30~16:30 会場:テレビ会議システム Zoom(オンライン) 対象:兵庫県下の高校教職員・大学教職員等 参加者数:計64名(加盟校20校42名、高校14校17名、企業・団体2社・5名) 内容:講演・意見交換会(2部制) 参加無料</p> <p><第1部> 基調講演 講師:甲南大学 理工学部地学研究室 教授 林慶一 先生 「探究学習」の課題に関して、実践的な観点での調査も踏まえた今日的な話題をご提供いただいた。</p> <p><第2部>意見交換会 ・高校からの話題提供者 1. 福崎高等学校 校長 齋藤 勝 先生 2. 姫路東高等学校 教頭 田中盛雄 先生・教諭 菅生 智文 先生 ・大学からの話題提供者 1. 神戸大学 高大接続卓越グローバル人材育成センター 教授 伊藤 真之 先生 2. 関西国際大学 高大連携センター長代理 前田 哲男 先生 (ファシリテーター)甲南大学 高大接続推進企画運営委員長 茶山 健二 先生</p>
------------	---

新しい試み等 (事業計画に記載)									
事業収支	<table border="1"> <tr> <td>収入</td> <td>支出</td> <td>収支</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>200,000</td> <td>33,495</td> <td>166,505</td> <td></td> </tr> </table>	収入	支出	収支	備考	200,000	33,495	166,505	
収入	支出	収支	備考						
200,000	33,495	166,505							

自己評価	<table border="1"> <tr> <td>【対到達目標】</td> <td>3</td> <td>【対継続性】</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>12月12日開催の件について、事務局から事前加盟校ならびに兵庫県下の高校へ参加可否を確認したところ、加盟校19校、高校19校、計38校50名の方より参加申込があった。引き続き一定の需要が見込まれるため、次年度以降も継続した実施が望まれる。</p>	【対到達目標】	3	【対継続性】	4
【対到達目標】	3	【対継続性】	4		

- | | |
|--|---|
| <p>■自己評価基準
(対到達目標)</p> <p>4:当初計画を上回って達成
 3:当初計画を達成
 2:当初計画をやや下回った
 1:当初計画を下回った</p> | <p>■自己評価基準
(対継続性)</p> <p>4:本プログラムは継続すべき
 3:本プログラムは継続しても良い
 2:本プログラムの継続には改善が必要
 1:本プログラムは中止すべき</p> |
|--|---|

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	県下大学と高校の高大連携に関する課題を共有し、具体的な課題について意見交換を行うことで、高大一貫した教育の提供、人材育成の取り組みを推進してほしい。
----------------------------	--

【2022年度 高大連携委員会 事業報告(②取組2)】(案)

【②取組2】達成目標	各年情報提供先数 高等学校等200か所以上
【②取組2】活動指標	大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載・アンケート等の実施/年1回以上

課題②	県内大学と高等学校間の連携による円滑な高大接続
達成目標【②取組2】	各年情報提供先数 高等学校等200か所以上
課題を解決する取組概要【②取組2】	加盟校の魅力を情報発信
活動指標【②取組2】	大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページへの情報掲載・アンケート等の実施/年1回以上

内容 (結果)	<p>1. 2022年度合同進学説明会 大学への進路選択にむけて、高校生と保護者、高校教員等を対象とする共同の説明会(オンライン)を開催する。日本学生支援機構スカラシップアドバイザーによる奨学金説明会も実施。兵庫県内・県外高等学校等、約550校に案内した。 【イベント名】兵庫県下 大学・短期大学 合同進学説明会 聞いてみようよ、大学のこと。 【日時】2023年3月28日(火)14:00~16:30 【会場】オンライン(ZOOM) 【参加者数】高校(生徒・保護者)…16校16名(うち兵庫県内9校9名・兵庫県外7校7名)・大学(教職員)…20校23名(全て加盟校)、その他5名(企業・団体…3団体5名) 【対象】新高校1年~3年生・保護者・教職員(高校・専門学校・塾など) 【参加費】無料 【参加校】加盟校21校(大手前大学・大手前大短期大学、関西国際大学、関西学院大学、甲南大学、甲南女子大学、神戸未来医療大学、神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸女学院大学、神戸女子大学・神戸女子短期大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、神戸薬科大学、頌栄短期大学、園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学・50音順) あわせて、大学への進学を希望する生徒たちや保護者を対象に、大学から伝えてほしいこと、聞きたいこと等について、事前アンケートも実施して取り組みを進めた。20回答。</p> <p>2. 県内大学等の情報提供の実施 高校並びに教職員・学生に対して、大学コンソーシアムひょうご神戸加盟校の魅力を伝えることで、大学での学びに対する理解を深め、進路選択と県内大学への進学率の向上に寄与することを目的にした。生徒の大学進学後の学生生活の充実と、主体的に学び続ける意欲を高めるべく、大学コンソーシアムひょうご神戸ホームページに「オープンキャンパス情報」「まなび発見マップ」等を掲出した。</p> <p>2023年度も継続して加盟校を対象に、情報収集を行い、ホームページにて掲出する。</p>
------------	---

新しい試み等 (事業計画に記載)	「探究」等をテーマにした高大連携に関する情報共有の一環として、コンソーシアムホームページ上で加盟校の取組事例について情報発信を行う。
---------------------	--

事業収支	収入	支出	収支	備考
	200,000	452,214	-252,214	※高大連携委員会予算内で執行

自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】	3
	高校と大学の学びの接続、教育の連携の観点から、高校・高校生等に加盟校の特徴を広く情報提供することは、重要な課題と考える。高校と大学の意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」等での教職員間の議論や意見をふまえて、コンソーシアムホームページ上で加盟校の情報発信等に取り組むことは、次年度以降も継続する必要があると考える。			

■自己評価基準 (対到達目標) 4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	■自己評価基準 (対継続性) 4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
--	---

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	高校と大学の意見交換の場である「ひょうご高校大学コンソーシアム」等での教職員間の議論や意見をふまえて、コンソーシアムホームページ上で加盟校の情報発信等に取り組むことについて、次年度以降も継続いただきたい。合同進学説明会は、加盟校のニーズ把握のうえ、継続の有無も含めて内容を検討いただきたい。高校と大学の学びの接続、教育の連携の観点から、高校・高校生等に加盟校の特徴を広く情報提供することは、重要な課題であるため、推進いただきたい。
----------------------------	---

【2022年度 高大連携委員会 事業決算】(案)

(単位:円)

	予算	決算案	取組1			取組2			委員会 予算・決算案			
			大学と高等学校の意見交換会の実施 「ひょうご高校大学コンソーシアム」			加盟校の魅力を情報発信						
			内訳	予算額	決算案	内訳	予算額	決算案	内訳	予算額	決算案	
収入	会費収入	500,000	500,000		200,000	200,000		200,000	200,000		100,000	100,000
	助成事業収入	0	0									
	受託事業収入	0	0									
	プログラム収入	0	0									
	雑収入	0	0									
	戻入金	0	0									
	計	500,000	500,000		200,000	200,000		200,000	200,000		100,000	100,000
支出	会議費	15,000	0	お茶代等	10,000	0				お茶代	5,000	0
	旅費交通費	40,000	3,820	交通費	30,000	0	交通費	0	3,820	交通費	10,000	0
	通信運搬費	60,000	142,457				通信費等	20,000	142,457	通信費等	40,000	0
	消耗品費	15,000	14,291	消耗品	5,000	0				消耗品	10,000	14,291
	新聞図書費	10,000	0							参考図書	10,000	0
	印刷製本費	50,000	63,642				チラシ等	50,000	63,642			
	光熱水料費	0	0									
	賃借料	50,000	0	会場費	50,000	0						
	保険料	0	0									
	謝金	140,000	55,075	謝金	100,000	33,000	謝金	40,000	22,075			
	租税公課	0	0									
	支払手数料	5,000	715	振込手数料	5,000	495	振込手数料	0	220			
	諸会費	25,000	0							フォーラム参加費	25,000	0
	委託費	90,000	220,000				HP等編集制作費	90,000	220,000			
	人件費	0	0									
	接待交際費	0	0									
	支払支援金	0	0									
	雑費	0	0									
	計	500,000	500,000		200,000	33,495		200,000	452,214		100,000	14,291

収入－支出	0
-------	---